

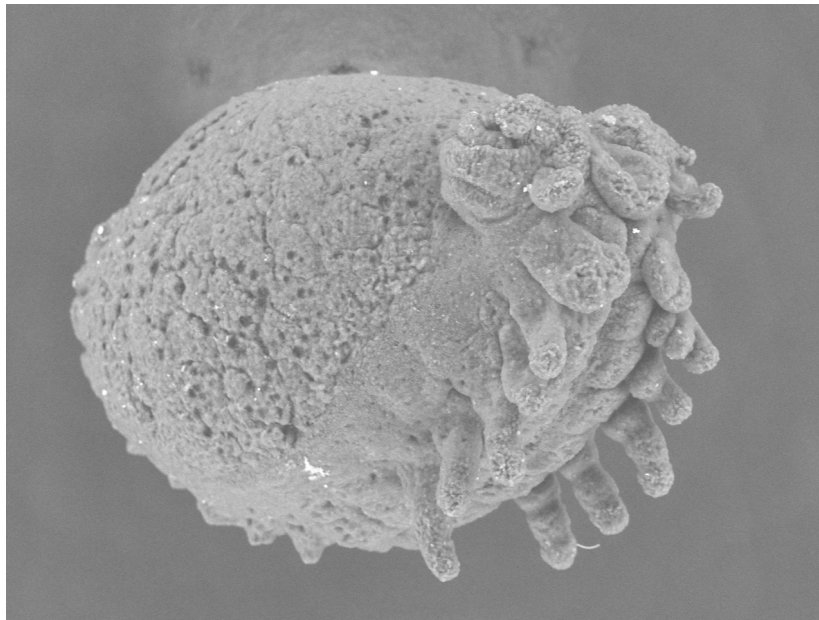
## D-7

# 電子の目で見えるミクロの世界 身近な生きものたちの不思議

同じタイトル「電子の目で見えるミクロの世界」のブースが<sup>しゅってん</sup>出展されていますので、ぜひとも<sup>そうさがたでんしけんびきょう</sup>走査型電子顕微鏡を<sup>じったいけん</sup>実体験していただきたいと思います。

ここでは<sup>せいぶつかがっか</sup>生物科学科1年生32名が<sup>じっしゅう</sup>実習「<sup>きそじっけん</sup>生物学基礎実験」の中で<sup>かだいかんさつ</sup>課題観察した8つのテーマに関する<sup>しゃしん</sup>写真を<sup>てんじ</sup>パネル展示として<sup>はっぴょう</sup>発表します。いずれも「私たちの<sup>みぢか</sup>身近な生きもの」を<sup>たいしやう</sup>対象とした<sup>くわんさつ</sup>観察ですが、<sup>ふだん</sup>普段から<sup>みな</sup>見慣れた生きものであっても、<sup>か</sup>スケールを変えて<sup>あらた</sup>改めて見つめてみると、<sup>はっけん</sup>新たな<sup>そうぞう</sup>発見や<sup>せかい</sup>想像も<sup>ちよくめん</sup>しなかつたような世界の<sup>ちよくめん</sup>広がり<sup>ちよくめん</sup>に<sup>ちよくめん</sup>直面することができます。

<sup>もくこんちゅう</sup>ハチ目昆虫・<sup>らんない</sup>カブラハバチ<sup>けいせいちゅう</sup>卵内で<sup>はい</sup>形成中の<sup>かんさつ</sup>胚（×250で観察）

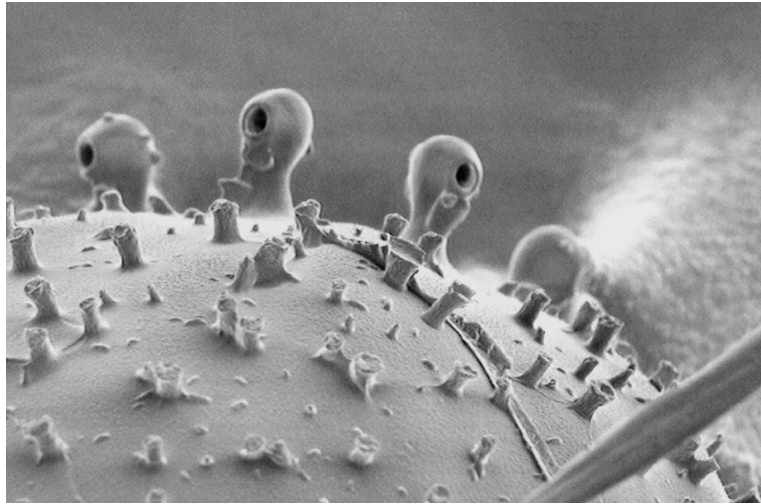


TM-1000

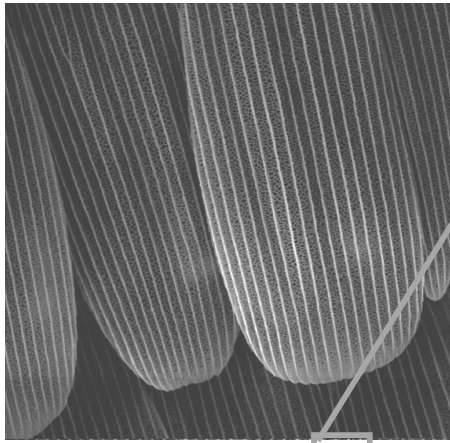
2005/05/12 11:00 L

200 um

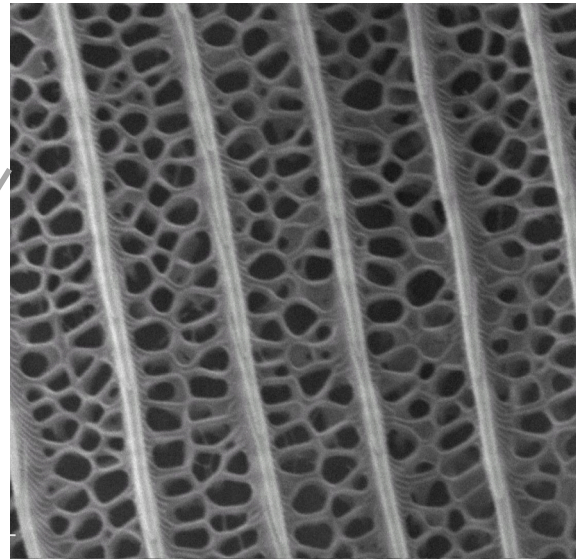
カメムシ<sup>もくこんちゅう</sup>の卵<sup>たまご</sup>の先端<sup>せんたん</sup>から空気<sup>くうき</sup>を取り込む孔<sup>とこ</sup>（エアロパイル<sup>あな</sup>）（ $\times 3000$ で観察<sup>かんさつ</sup>）



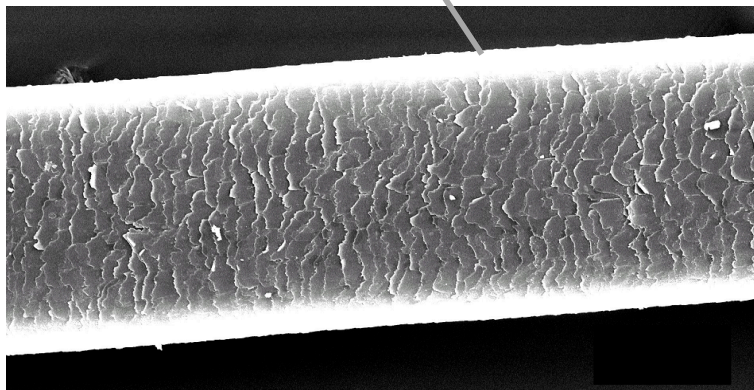
チヨウ  
もくこんちゅう  
目昆虫・カ  
ラスアゲハの  
はね<sup>りんぱんへん</sup>  
翅の鱗粉片  
みぎ<sup>しやしん</sup>  
右の写真  
かく<sup>だいろ</sup>  
は拡大図



やく<sup>かんさつ</sup>  
（約 $\times 1000$ で観察）



やく<sup>かんさつ</sup>  
（約 $\times 7500$ で観察）



かみ<sup>け</sup>  
ヒトの髪の毛  
やく<sup>かんさつ</sup>  
（約 $\times 500$ で観察）

信州大学理学部生物科学科 1 年生（「生物学基礎実験」受講生），東城研究室